ちょっと気になる八王子マガジン

はちとび

2020年 新風号

No.44

Take Free
〈ご自由にお持ちください〉

特集

わがまち八王子 〝探訪〟シリーズ

「小宮」

かつて平の渡しのあった多摩川河川敷より八高線を望む

小宮地域を深～く知る！ その１
“まるっと小宮・探索コース”
小宮駅～北八王子駅

小宮地域を深～く知る！ その２
“ぐるっと小宮・周回コース”
北八王子駅～東海大学八王子病院

元気印の市民団体紹介	八大緑遊会
コラム 八王子の民俗誌⑩	大善寺～豊かな歴史を新たな地で活かす 佐藤 広
コラム 八王子の原風景⑩	谷地川流域を訪ねて 1 馬場喜信
私の本はこうして生まれた 其の四十四	『哀しみの女君たち ―『源氏物語』のヒロイン・二十四抄―』 豊田芳子 著

深～く

★小宮地域を知る！ その1

“まるっと小宮・探索コース”

はちとぴ観光★特撰

八王子探訪シリーズの第４回は小宮地域。地域を縦断する八高線を軸に北部を辿るルートと、浅川を辿りながら南部の自然を満喫する２つのルートを設定しました。大規模な工場と歴史的な見どころが共存する町を歩きながら、小宮地域の歴史に触れてみます。

◎「小宮」の縁起

八王子市の北東部に位置する小宮地域。江戸時代の大和田村、北大谷村、西中野村、粟ノ須村、北平村、石川村、宇津木村が１８８９（明治22）年に合併して小宮村となりました。なかでも中野や大和田の各地区は、浅川を隔てて隣接する八王子市と古くから密接な関係がありました。また、関東大震災以降に八王子市内の織物工場が移設したり、市民が移り住んだりするなど、小宮地域と八王子市の関係は一層密になります。これに伴い、合併の機運が高まってきましたが、当時はまだ地域内に反対論が残っていました。

スムーズに進まない合併を前にして、小宮村は１９３４（昭和９）年に町制を施行し、小宮町となります。その後の粘り強い交渉により、太平洋戦争開戦直前の１９４１年10月に八王子市と合併。市と最初に合併した近隣町村となりました。

江戸時代に新田開発が行われた小宮地域一帯は、かつて農耕と養蚕が盛んなところでした。特にこの地で生み出された高倉大根は八王子の特産物として知られています。近代になると八高線が敷かれ、製糸工場の稼働が盛んになります。戦後には中央自動車道、国道16号バイパスなどが整備され、昭和30年代には石川町と高倉町に「北八王子工業団地」が形成されました。

現在では大規模な宅地開発が進んで、住宅も急増しています。小宮公園をはじめ、ところどころにかつての面影を残す緑地が残されていますが、近年特に都市化が進んだ地域の１つといえるでしょう。

❶小宮駅

八高線は養蚕地帯や絹織物生産地の八王子と埼玉西部・群馬県を結ぶ南北路線として計画された。１９３１（昭和６）年に八高南線として八王子～東飯能間（25・６km）が開通した際に、粟ノ須に小宮駅が開業した。

❷東福寺（笛継観音）

江戸時代後期に現在地に移転。北条氏照の家臣で横笛の名手、浅尾彦兵衛にまつわる「笛継観音」伝説の観音堂（十一面観音）がある。氏照秘蔵の笛を割ってしまった浅尾が、この観音に祈ったところ、笛は元通りに戻ったという。

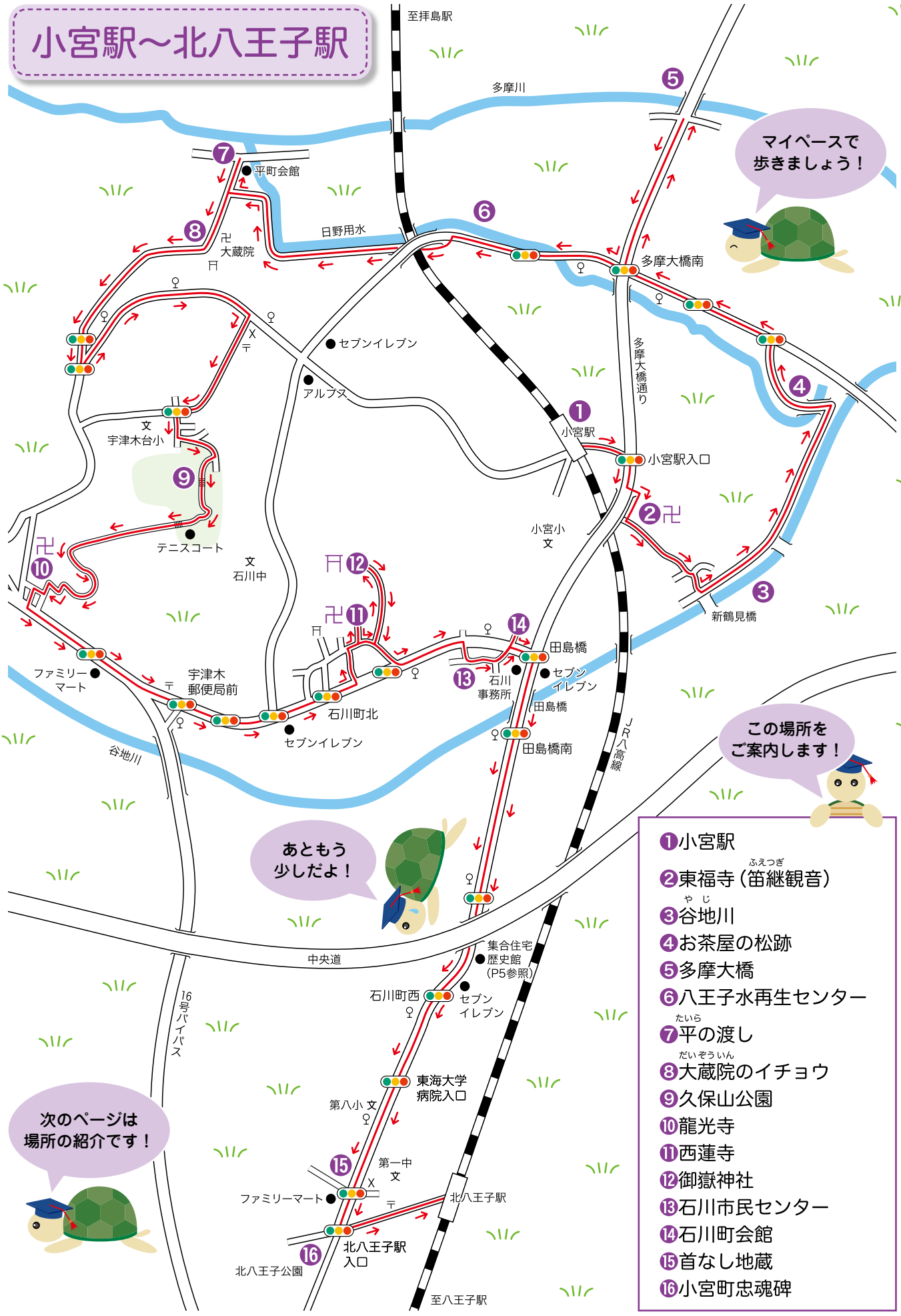
❸谷地川

市内上戸吹付近を源流とし、滝山街道に沿って南東に流れ、日野市で多摩川に合流する12・９kmの河川。かつては大きく蛇行していたが、河川改修が行われ、現在のように直線の川となった。このルートの付近は遊歩道が整備されている。

❹お茶屋の松跡

この地区に用水を開拓した永禄年間、御茶屋小屋が建てられた。その目印としてかつて「お茶屋の松」が植えられていた。20mにも及ぶ美しい枝ぶりは、ひときわ目立つ名木だった。現在は工場の敷地に細い松が植えられている。

小宮駅～北八王子駅



❶小宮駅
❷東福寺（笛継観音）
❸谷地川
❹お茶屋の松跡
❺多摩大橋
❻八王子水再生センター
❼平の渡し
❽大蔵院のイチョウ
❾久保山公園
❿龍光寺
⓫西蓮寺
⓬御嶽神社
⓭石川市民センター
⓮石川町会館
⓯首なし地蔵
⓰小宮町忠魂碑

❺多摩大橋

2007（平成19）年に架設された八王子市と昭島市を結ぶ橋。中央にシャープな赤いアーチ橋を挟んでいるのが特徴。橋の長さは約461mで、すぐれた橋梁に授与される土木学会田中賞の作品部門を受賞している。

❻八王子水再生センター

八王子市と近隣市町村の下水を処理する施設。都内で初めて導入された高度処理方式を取り入れ、処理した水を多摩川に放流している。500kWの太陽光パネルを設置し、発電した電気をポンプ設備や照明などに使用している。

❼平の渡し

日野用水堰辺りには、かつて渡船場の平の渡しがあり、常時2艘の舟が竿で運航していた。昭和になると鉄線を引いて、手繰って渡れるように改良された。1937（昭和12）年に水量の減少により廃止。仮橋もつくられたが、終戦時に破壊された。

❽大蔵院のイチョウ

樹齢推定500年、樹高11mという市指定天然記念物。「金銭平（きんせんだいら）の大公孫樹」ともいわれる。古くは1823（文政6）年に書かれた「武蔵名勝図会」にも記述があるように、当時からこの近辺のシンボル的な樹木だった。

❾久保山公園

住宅街の中にある、敷地面積3350㎡の自然あふれる公園。有料施設として2面オムニコートのテニスコートがある（利用登録制）。芝生広場には、複合遊具や小さな子どもでも遊べるすべり台、砂場などがある。

❿龍光寺

1356（文和5）年創建と伝えられる。市指定有形民俗文化財の板碑があり、中央に南無阿弥陀佛の文字、その周囲に時宗宗徒106名の阿号が刻まれている。1353（文和2）年、時宗の二祖他阿真教の35年忌に造立したものと伝えられる。

⓫西蓮寺

毎年9月の第2土曜・日曜に五穀豊穣、悪疾・悪病の退散を祈願して奉納される石川龍頭の舞。土曜日は西蓮寺から御嶽神社まで行き、御嶽神社境内で奉納披露され、日曜日は西蓮寺で舞われる。（はちとぴ23号参照）

⓬御嶽神社

1573（天正元）年に落成。それを祝って村の若者たちが奉納したのが石川龍頭の舞の起源とされる。明治時代の廃仏毀釈によって御嶽権現が神社へと変遷。以降、石川龍頭の舞は西蓮寺と御嶽神社の両方で舞われるようになる。

⓭石川市民センター

石川地域住民協議会発足から間もなくの1993（平成5）年に開館。会議室や体育室のほか、音楽室、ゲートボールコートなども備える。2019（令和元）年に石川市民センター図書館がオープンした。

⓮石川町会館

かつては養蚕飼育所として蚕の卵をふ化させていた。終戦後は石川町の文化・スポーツの拠点となる。会館の正面に建つ忠霊塔は1973（昭和48）年建立。太平洋戦争、日中戦争戦没者47名の氏名が裏面に刻まれている。

⑮首なし地蔵

都道の傍らの角地にある、首の取れた小さな地蔵尊。この首は時を経て取れたものではなく、最初からなかったと伝えられる。首から上の病気や首が回らないとき（忙しいときや金の工面がつかないとき）、功徳があると伝えられる。

⑯小宮町忠魂碑

1912（明治45）年、北八王子公園敷地の一角に建立。高さ4m、幅1mの自然石の表面に乃木大将自筆の「忠魂碑」の文字が刻まれている。日清・日露戦争の戦死者14名のほか、後に日中戦争死者1名が合祀された。

ひと休みコラム

集合住宅歴史館

石川町の中央道そばにある集合住宅歴史館は、昭和30年代の古い団地の部屋を中心に移築した展示場で、昭和期の集合住宅の変遷を学ぶことのできる施設です。そもそもこの場所は、UR都市機構の技術研究所として開設されました。

戦後、職を求めて都市部に多くの人が押し寄せて深刻な住宅難が発生するなか、労務者向けの住宅を提供するべく、国は1955（昭和30）年に日本住宅公団（現UR都市機構）を発足。公団は東京などの大都市を中心に次々と団地を建設し始めます。大量の住宅を提供するにあたって、建設の合理化などの研究や実験をするための施設が必要となりました。そこで1963年、調布に量産試験場が開設され、1969年にこの地に技術研究所として移転。かつては敷地内に14の研究施設があり、新しい時代に合った団地を建設するため、さまざまな実験や調査が重ねられていました。2018（平成30）年3月にひとまず研究所の役割を終えて、現在に至ります。

メインの展示施設となる「集合住宅歴史展示棟」には、UR都市機構がかかわった蓮根団地（板橋区）、多摩平団地（日野市）、晴海高層アパート（中央区）の部屋が、それぞれ移築されています。また、URとかかわりはないのですが、「日本近代化産業遺産」にも選ばれている同潤会代官山アパート（渋谷区）も展示されています。いずれの住宅も部屋の構造はもちろん、押し入れや風呂、洗濯機なども当時のまま配置されています。

見学は平日午後のみで、完全予約制のため、ふらっと立ち寄っても自由に見学はできませんが、その代わり、見学時には必ず説明員が見学者に合わせた案内をしてくれます。パンフレットなどでは窺い知れない話も織り交ぜ、じっくり見学すれば半日楽しめるほど。ほとんどの展示物を実際に触ることができ、当時の生活をまさに「体感」することができます。日本の集合住宅の歴史を身近に感じてみてはいかがでしょうか。

▶晴海高層アパートの風呂

◀電気設備の変遷

▲同潤会代官山アパートの台所

▶蓮根団地の内観

◀多摩平団地の洗濯機

●集合住宅歴史館
石川町2683－3
☎（644）3751
URL https://www.ur-net.go.jp/rd/
公開日 月～金（祝日、年末年始などを除く）
公開時間 13時30分～16時30分
＊見学に際しては事前に電話・ホームページにて要予約